

Advanced Utilization of Tsunami Damage Estimation Method Considering Diversity of Earthquakes : Beyond The 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake

大角, 恒雄

<https://doi.org/10.15017/4060145>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (工学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名	大角 恒雄		
論 文 名	Advanced Utilization of Tsunami Damage Estimation Method Considering Diversity of Earthquakes - Beyond The 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake (地震の多様性を考慮した津波被害予測手法の高度利用に関する研 究－2011 年東北地方太平洋沖地震を経験して－)		
論文調査委員	主 査	九州大学	教授 ハザリカ ヘマンタ
	副 査	九州大学	教授 橋本 典明
	副 査	九州大学	教授 松田 泰治

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、津波避難シミュレーションにより情報伝達の効果을明らかにし、地震の多様性を考慮した海域活断層モデルの設定及び検証を行い、非地震性津波として、海底地すべりに起因する津波の解析を独自の手法により検証し、歴史地震に対して再現性をまとめている。よって、本論文の成果は、地盤防災学並びに防災工学上重要な知見を得た業績であり、博士（工学）の学位論文に値するものと認める。